

阪神港利用促進プロジェクト

～阪神港を活用した新たな国際物流サービスのアイデアを応援します～

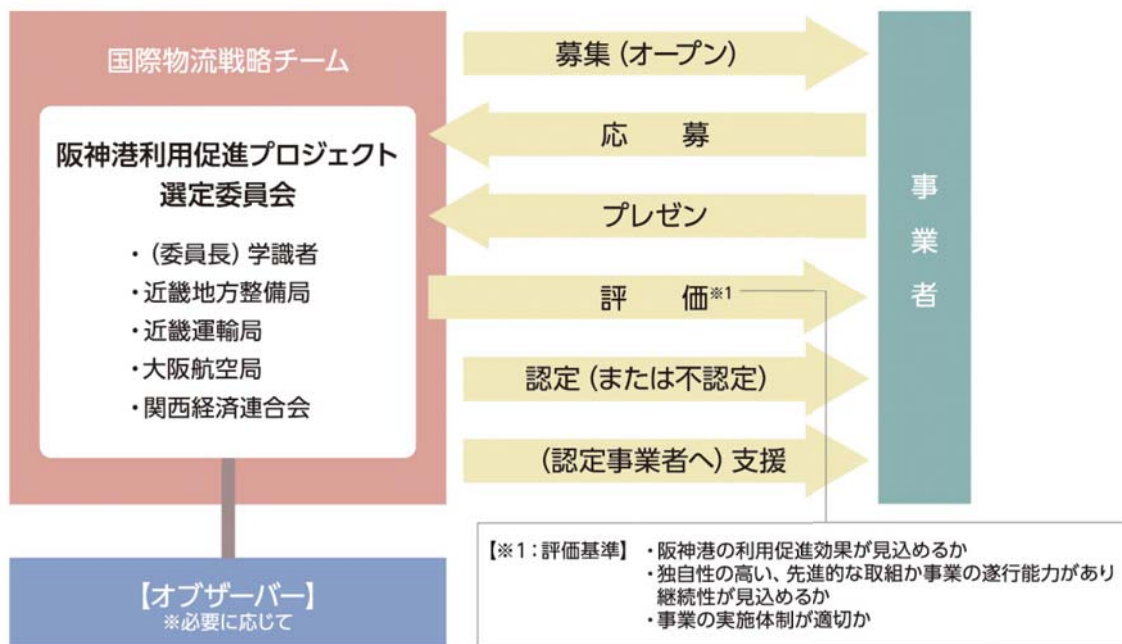
「阪神港利用促進プロジェクト」について

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の利便性を高め、「集貨」「創貨」「通貨」を促進するため、様々な事業者による独自サービスの更なる発展を支援する制度を平成25年度に創設。

当該取組は「国際物流戦略チーム」の認定事業として、社会情勢やビジネスニーズに適応し、具体的な事業アイデアにもとづく、独自性の高い国際物流サービスを支援する。

【認定事業者への支援例】

- ・国際物流戦略チームのウェブサイトでの認定プロジェクトの紹介
- ・国際物流戦略チーム構成員による広報協力
- ・認定事業者が実施する営業媒体等への認定事業の表記等



「阪神港利用促進プロジェクト」活性化セミナー開催実績

開催概要

「阪神港利用促進プロジェクト認定事業」について、近畿、九州、中国・四国地域の港湾利用者である荷主企業や物流事業関係者に広く周知するセミナー

日時・場所

- 平成26年3月 大阪市 (約150名参加)
- 平成26年6月 福岡市 (約90名参加)
- 平成26年7月 広島市 (約120名参加)



～ 平成26年度 阪神港利用促進プロジェクト 認定事業 ～

アシストスーツ（荷役支援機器）を利用した港湾荷役作業

株式会社辰巳商會

TEL：06-6576-1841 倉庫部 / 担当：榎谷・榎本

事業概要

- ・港湾荷役作業に適した荷役支援機器を開発し、荷役作業において利用するとともに、物流事業での普及を進める。
- ・物流事業を取り巻く状況として、労働人口の減少や高齢化が進んでおり、労働者の安定的確保が経営上の課題となっている。荷役支援機器を使用することによって、労働負荷軽減による作業効率の改善につながり、労働者一人当たりの生産性を向上させる。

サービスの特長

- ・ロボットメーカーのアクティプリンク(株)と荷役支援機器を共同開発。
- ・最新のセンサー・制御技術・モーター等を組み合わせた荷役支援機器は、荷役を行う人の動きに対し、的確なアシストを実現し、物流業界での先駆的な取組みとなる。
- ・荷役支援機器を使用することにより、労働負荷軽減による作業効率の改善につながり、労働者一人当たりの生産性を向上させる。
- ・物流事業に不適とされていた女性や高齢者等の人材の新規就労につながり、物流事業の活性化に寄与する。



神戸⇄高松・小豆島間のカーフェリーを利用した外貿コンテナ一貫輸送事業

ジャンボフェリー株式会社

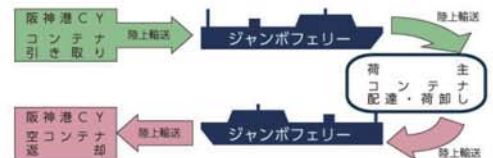
TEL：078-327-3111 担当：西

事業概要

- ・阪神港～四国方面への海上コンテナ一貫輸送に定期カーフェリーを利用することで、高い利便性、経済性のみならず、環境に優しい輸送を実現。

サービスの特長

- ①国際基幹航路の利用 ②高頻度シャトル便 ③短いリードタイム
北米・欧州航路を結ぶコンテナ船が寄港しない四国にとって、阪神港と高頻度シャトル便で結ばれることは、リードタイムの短縮など、荷主の利便性向上につながる。
- ④海上大量輸送 ⑤フェリーによる省エネ効果
コンテナ1本当たりの輸送エネルギー消費量は陸送の5分の1であり、燃料コスト削減や温室効果ガス削減に効果があるなど、経済性・環境性の両面で優れている。



神戸⇄宮崎を結ぶ定期フェリー便による貨物輸送事業

宮崎カーフェリー株式会社

TEL：078-321-3737 関西支店 貨物営業部

事業概要

- ・定期航路（神戸～宮崎）を利用して、高い利便性・経済性、CO2削減などのモーダルシフトを実現しつつ、コンテナ貨物の一貫輸送を強化することにより、阪神港への『集貨』・『通貨』の促進を図る。

サービスの特長

- ①高い利便性・・・デイリー運航によるリードタイムの短縮や、主要コンテナターミナルと隣接している神戸港へ移転したことによる利便性向上。
- ②高い定時制・・・大型カーフェリーの運航による高い定時制。
- ③モーダルシフトによるCO2削減・・・海上輸送によりCO2削減を実現。
- ④労務問題の解決・・・航海時間中は休息扱いとなるため、労働時間問題が解決。



阪神港と新門司港を結ぶフェリー事業

阪九フェリー株式会社

TEL：06-6345-6361 関西支店

事業概要

- ・阪九フェリー(株)が有するフェリー航路を利用することで、高い利便性や環境負荷の少ない輸送を実現する。
- ・平成27年1月・4月に瀬戸内海でも最大級となる新造船を投入し、貨物の一層の増加を図る。

サービスの特長

- ①フェリー航路の有する高い定時制・確実な輸送
- ・デイリー航路を活用し、瀬戸内海でも最大級となる大型船の投入により、阪神港への物流を一層拡大。
- ②船の大型化（従来の車線数8レーンに対し9レーン化）
- ・大型トラック30台、乗用車100台ほど多く積載が可能。
- ③フェリーを活用した商品車両の輸出・輸送事業
- ・関西地区の乗り場は自動車専用運搬船バースが近いので、商品車両を輸送し、国内外への輸送をおこなう。



区分	新門司発～神戸着	区分	神戸発～新門司着
月曜～木曜	18:40⇒07:10	月曜～木曜	18:30⇒07:00
金曜～日曜	20:00⇒08:30	金曜～日曜	20:00⇒08:30

区分	新門司発～泉大津着	区分	泉大津発～新門司着
毎日	17:30⇒06:00	毎日	17:30⇒06:00



～ 平成25年度 阪神港利用促進プロジェクト 認定事業 ～

阪神港～瀬戸内／九州 内航フィーダー機能強化事業

西日本内航フィーダー合同会社

TEL : 078-271-7005 FAX : 078-271-7010 船舶営業部 / 担当 : 宮崎

事業概要

- ・瀬戸内／九州から阪神港へコンテナを集貨する輸送サービスを提供。
- ・大型船のメリットを生かし、合同会社メンバーの協力により、スピード・料金の両面で他社にはできないサービスで荷主にアピール。

サービスの特長

- ・一般貨物船に比べ乗組員の少ないプッシャー型コンテナ船を利用することで低コスト輸送が可能。
- ・阪神港に入港する外航サービスを利用し、多様な海外ネットワークに接続。
- ・内航、荷役、保管、陸送等のサービスを包括し、一貫輸送として実施することで料金の引下げが可能に。さらに、少量貨物でも回収する柔軟な寄港スケジュール編成が可能。



阪神港と瀬戸内・九州諸港を結ぶ内航コンテナフィーダー事業

鈴与海運株式会社

TEL : 078-845-2027 神戸営業所 / 担当 : 伊藤

事業概要

- ・阪神港を起点に、瀬戸内・九州諸港を内航船で1週間2往復運航。
- ・瀬戸内・九州地域の中でも特に顧客ニーズの高い北九州・志布志港を中心に運航。

サービスの特長

- ・不特定顧客への幅広い営業を展開。
- ・ウィークリー、定曜日で運航するため、荷主企業にとっては長期的な物流計画の作成が可能に。



阪神港⇄九州・瀬戸内 母船フィーダー運航事業

Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch

TEL : 078-303-8400 オペレーション部内航船課 / 担当 : 中村

事業概要

- ・西日本各港と阪神港を結ぶフィーダー網を構築し、自社専用船によるリードタイムの短いフィーダーサービスを提供。

サービスの特長

- ・利用するフィーダー船に自社専用運航船を投入することで、阪神港寄港母船とのスムーズな接続とリードタイムの短縮が可能。
- ・阪神港寄港を週3回とし、その前日または翌日は各地方港に寄港するトランシップサービスを構築。利便性の高いスケジュールを設定。
- ・輸入港である大阪港、輸出港である神戸港の両方に外航航路を有するため、大阪港から地方港に空コンテナを供給し、地方港から神戸港へ実入コンテナを回収することが可能。
- ・各地方から阪神地域へ陸送される内買貨物を、海上輸送へモーダルシフトすることも検討。CO2削減に寄与する。

ISO規格海上コンテナによる次世代型の「国内海上コンテナ輸送網」構築プロジェクト

井本商運株式会社

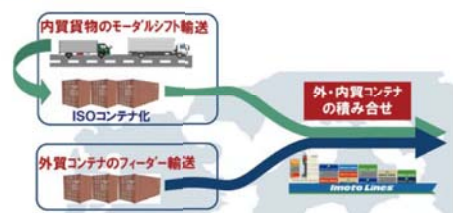
TEL : 078-322-1602 営業部 / 担当 : 葛西(くずにし)

事業概要

- ・ISO規格海上コンテナによる次世代型の「国内海上コンテナ輸送網」を構築。
- ・輸出入フィーダー貨物(外買コンテナ)・国内動脈貨物(内買コンテナ)・国内静脈貨物(内買コンテナ)の3種類の貨物を積み合わせることで、船型の大型化・低燃費化を実現する。

サービスの特長

- ・ISO規格海上コンテナを国内流通に投入し、内航コンテナ船による新しい国内幹線輸送サービス「海コン便」を提供。
- ・国際・国内という区分を取り払い、外・内買コンテナを一体的に阪神港へ「集貨」。



～ 平成25年度 阪神港利用促進プロジェクト 認定事業 ～

夢洲物流センターの新設

横浜冷凍株式会社

TEL:06-4804-1250

事業概要

- ・大阪ベイエリアの低温物流ニーズの高まりに応え、最新スペックの物流センターを新設。

サービスの特長

- ・ホコリや暖気の侵入を防ぎ、低温でも効果的な除湿を可能にするハイブリッドデシカント陽圧方式や電動式移動ラックの導入による高い品質管理を実現。
- ・太陽光発電システム、自然冷媒(アンモニア、CO2)等を活用した冷蔵倉庫により環境への配慮を徹底。
- ・天井ヘアピンコイルによる自然対流冷却方式、リチウムイオン電池蓄電によるBCP確立など、最適な保管環境を提供。



国内物流総合保険特約付き外航貨物海上保険

AIU損害保険株式会社 西日本地域事業本部

TEL:06-6356-5389 担当:森明・吉井

事業概要

- ・主に貨物の保管・輸送中のリスクについて、通常の事故による損害に加え、地震・津波による損害も含めた幅広い補償(オプション)を提供。
- ・地震・津波による補償部分についても、個別に阪神港の港湾所在地の地震リスクにもとづいて保険料を算出するなど、オーダーメイド型で保険料の算出および補償内容を設計。
- ・日本国内の輸送だけでなく、保管中も補償。

サービスの特長

- ・阪神港を利用する荷主企業には、地震リスクについても積極的な推進を行い、最適な補償の提供が可能。個別コンサルティングあり。
- ・外航貨物海上保険専門の損害サービスセンターにおけるユニット体制による迅速な事故対応、AIGグループの世界的ネットワークを活用した損害防止サービスなど、専門性とグローバル性を兼ね備えた商品・サービス。

国際物流戦略チーム概要

関経連や国交省国際物流施策推進本部による提案を受け、全国に先駆けて関西に設置された組織。国際コンテナ戦略港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指し、産学官が一体となって各種方策に取り組むもの。

体制

産

関経連、商工会議所、船社、倉庫、陸運、新関空会社、阪神国際港湾㈱など

学

大学・研究機関等、経済・物流の学識経験者

官

財務局、税関、経済産業局、運輸局、地方整備局、航空局、関係府県市など

<本部会合> 本部長:森 詳介 関経連会長
代表者(産)、局長クラス(官)などにより構成。戦略に対する意思決定を行う

<幹事会> 座長:黒田 勝彦 神戸大学 名誉教授
実務担当部の代表者(産)、部長クラス(官)などにより構成。戦略の検討を行う

国際物流
戦略チーム
事務局

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部
TEL (078)391-3102
国土交通省 近畿運輸局 交通環境部
TEL (06)6949-6410

国土交通省 大阪航空局 空港部
TEL (06)6949-6209
公益社団法人 関西経済連合会 地域連携部
TEL (06)6441-0107